

公益社団法人 若狭町シルバー人材センター

令和6年度 事業計画

基本方針

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化と医療費や介護費用の削減に寄与しているところです。

一方では、高年齢者雇用安定法による70歳までの雇用確保努力義務など、高年齢者の就業機会が多様化する社会情勢の変化により、会員の減少や高齢化が課題となっております。

なお昨今の物価上昇による諸経費の高騰、昨年10月から消費税の適格請求書保存方式（インボイス制度）が施行され、新たな税負担が発生することは運営上大きな問題となります。

又フリーランス法の施行を見据えた契約方法変更、業務の効率化のためのデジタル化の推進等についても鋭意取り組んで行かなければなりません。

本年度は設立20周年を迎えます。当センターの事業運営は大変厳しい情勢下にあります。が、シルバー人材センターの存在意義を高め、積極的な運営を行うために「会員の拡大」、「就業機会の確保」、「安全就業の徹底」を最重要課題として本年度も、地域の期待に応じて行くために次の事項を重点に取り組みます。

目標達成に向けた取組み

1. 会員の拡大について

シルバー人材センターが、地域の高齢者にとって魅力ある受け皿として、また地域社会の多様なニーズに応えられる体制を構築するため、その根幹となる「会員拡大」は必要不可欠であり、下記の活動を中心に会員拡大を推進します。

- 1)「**会員一人が一人の仲間を増やす運動**」を展開します。
- 2)イメージアップのための広報活動
- 3)退会抑制の取組み（プラチナ制度利用）

数値目標 280名

2.受注・就業機会の拡大について

シルバー人材センターの就業として、「草刈」「剪定」「清掃」と三大就業イメージが強いため、従来からの受託、委任就業に加えて派遣事業、ホワイトカラー(事務系)また女性会員向けの就業確保・拡大に積極的に取り組みます。

- 1)会員の就業ニーズに沿った就業機会の開拓に努めます。
- 2)継続発注による就業機会の確保に努めます。
- 3)講習会等の開催により技能向上と、信頼性向上による就業機会の確保を図ります。
- 4)公共機関への働きかけを強化します。

数値目標 受託事業 82,000 千円 派遣事業 10,000 千円

3.安全・適正就業の推進について

シルバー人材センターの事業の運営においては「安全はすべてに優先する」という基本理念に基づき「安全・適正就業委員会」を中心に、「事故ゼロ」を目指し、会員の安全意識の向上や情報の共有をはかりつつ安全就業及び事故防止に取り組みます。

- 1)推進月間の設定や安全就業パトロールの強化に努めます。
- 2)安全・適正就業研修会を開催します。
- 3)「かわら版の発行」「安全就業チェック表」を活用した事故防止意識の高揚を図ります。

数値目標 事故件数 0 件

4.介護事業

行政、地域内業者と連携を図りながら訪問介護利用者の拡大を図ります。

数値目標 訪問回数 1,500 回

5.指定管理事業

- 1)施設の整備、管理を徹底し顧客満足度アップに努めます。
- 2)管理者主催の大会を企画し利用者の増加を図ります。
- 3)民宿に配布している利用券の利用拡大を促進します。

6.シルバー事業の普及拡大

シルバー事業の意義、理念、仕組などを広く周知するとともに、効果的なPR活動の取組を行います。

- 1)連合と一体となり、新聞、テレビ、ラジオなどメディアの活用を行います。
- 2)パンフレット等の作成、配付を行います。
- 3)ボランティア活動を行います。
- 4)地域ふれあいフェアーを開催し地域住民との交流を図ります。

7.シルバー事業のデジタル化の推進

業務運営の効率化によりセンターの経営基盤強化を図る観点から、シルバー事業のデジタル化を推進します。

多くの会員がデジタル機器操作に馴染むことが欠かせない為、スマホ講習会等開催し会員のデジタル利用を促進します。